

6 - 1 中部地方北西部（飛騨地方北部，富山湾及び能登半島周辺）の
地震活動（1987年1月～6月）
Seismic Activity in the Northwestern Chubu Region (including the Northern Hida,
Toyama Bay and Noto Peninsula Regions), January-June, 1987

京都大学防災研究所

上宝地殻変動観測所

Kamitakara Crustal Movement Observatory
Disaster Prevention Research Institute
Kyoto University

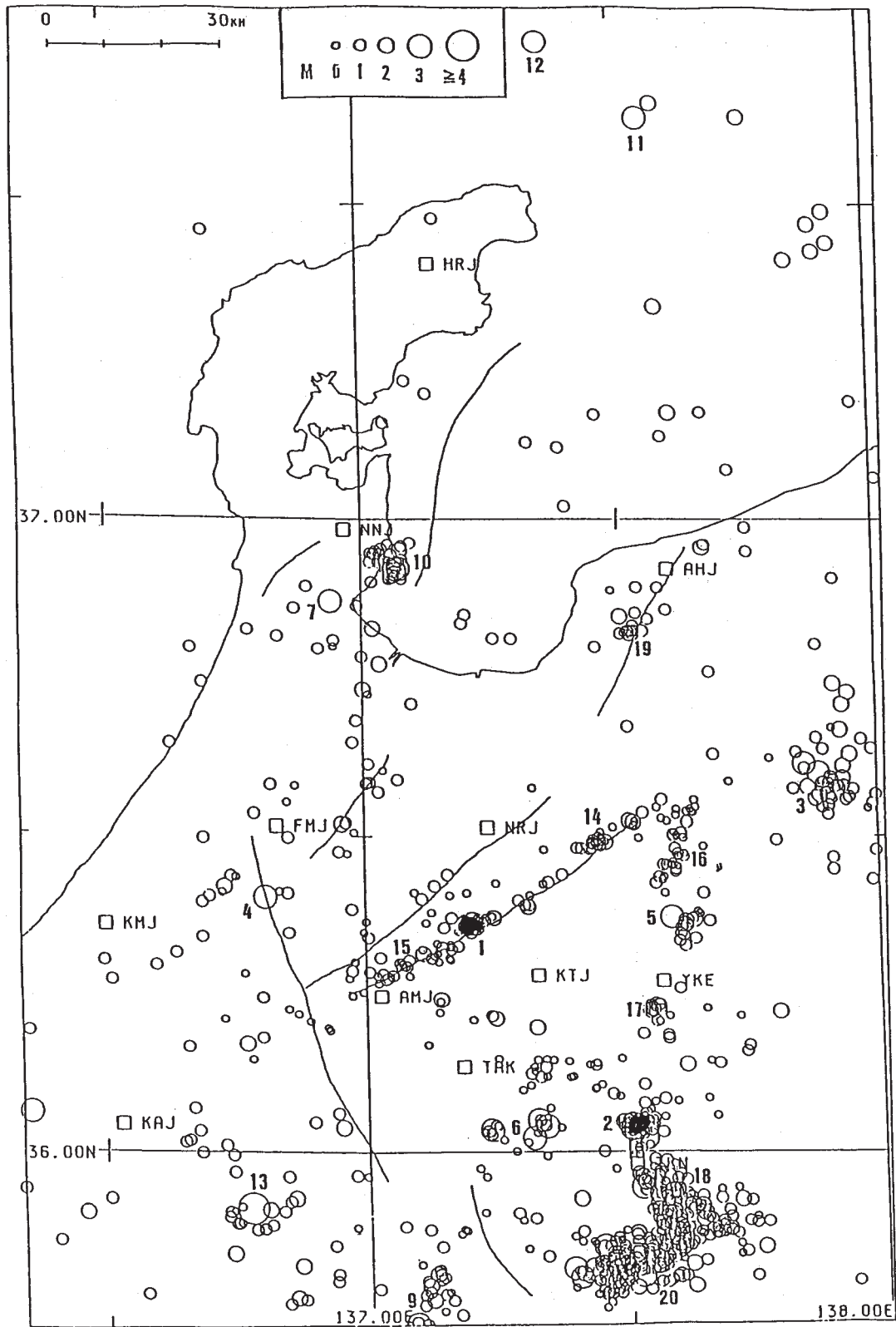
第1図はこの地方における1987年1月より6月の地震活動状況を示したものである。図中に番号を付した地震活動のうち主なものは次の通りである。

(1)前報¹⁾に報告した跡津川断層中央部（菅沼付近）の群発活動が継続しており，1月2日と2月1日にそれぞれM3.0の地震があった。(2)は1986年3月7日以来，飛騨山脈乗鞍岳西南方に継続している群発活動²⁾で，1月3日M3.0，同6日M3.6，13日M3.1，2月22日M3.1，3月24日M3.4の地震，(3)は1986年12月30日の長野県北部の地震M6.0の余震活動，(4)1月12日御母衣断層北部M3.5，(5)2月1日飛騨山脈槍ヶ岳北方M3.3，(6)飛騨久々野付近で2月8日M3.0，2月19日M3.6，5月15日M3.1，6月11日M3.1，(7)2月19日富山県氷見市付近M3.8，(10)富山湾西岸氷見沖で1月6日より始まった群発地震活動（後述），(11)5月7日能登半島北東沖M3.0，(12)5月10日同北東沖M3.1，(13)6月6日福井県和泉村M4.3などの地震が発生した。

このうち特に顕著な活動は(10)の富山湾西岸の群発活動で，その発生の日別頻度分布（七尾観測点NNJでの観測回数）を第2図(a)に，震源が決定出来た42個の震央分布を(b)に示す。活動は3月27日より4月2日迄特に活発であり，3月27日02:46 M3.5，29日10:47 M3.8，12:13 M3.1，19:26 M3.2，30日05:13 M3.7，4月1日18:58 M3.1の6回にわたって $M \geq 3$ の地震が発生した。震源は何れも浅く3km程度と思われる。このうち3月30日の地震のメカニズムを第4図Dに示した。第3図は3月24日21:49に富山湾東方138°E線付近に発生した有感地震M5.9（JMA）の余震活動の日別頻度分布であって，富山湾周辺3観測点での3月中の記録回数は626回に及んだ。これらの余震の震央は現在の観測網データからは正確に決定出来ない。本震（3月24日21:49）と2つの大きい余震（3月24日22:22，3月25日09:39）のメカニズムを第4図A，B，Cに示したが，いずれも逆断層型を示している。

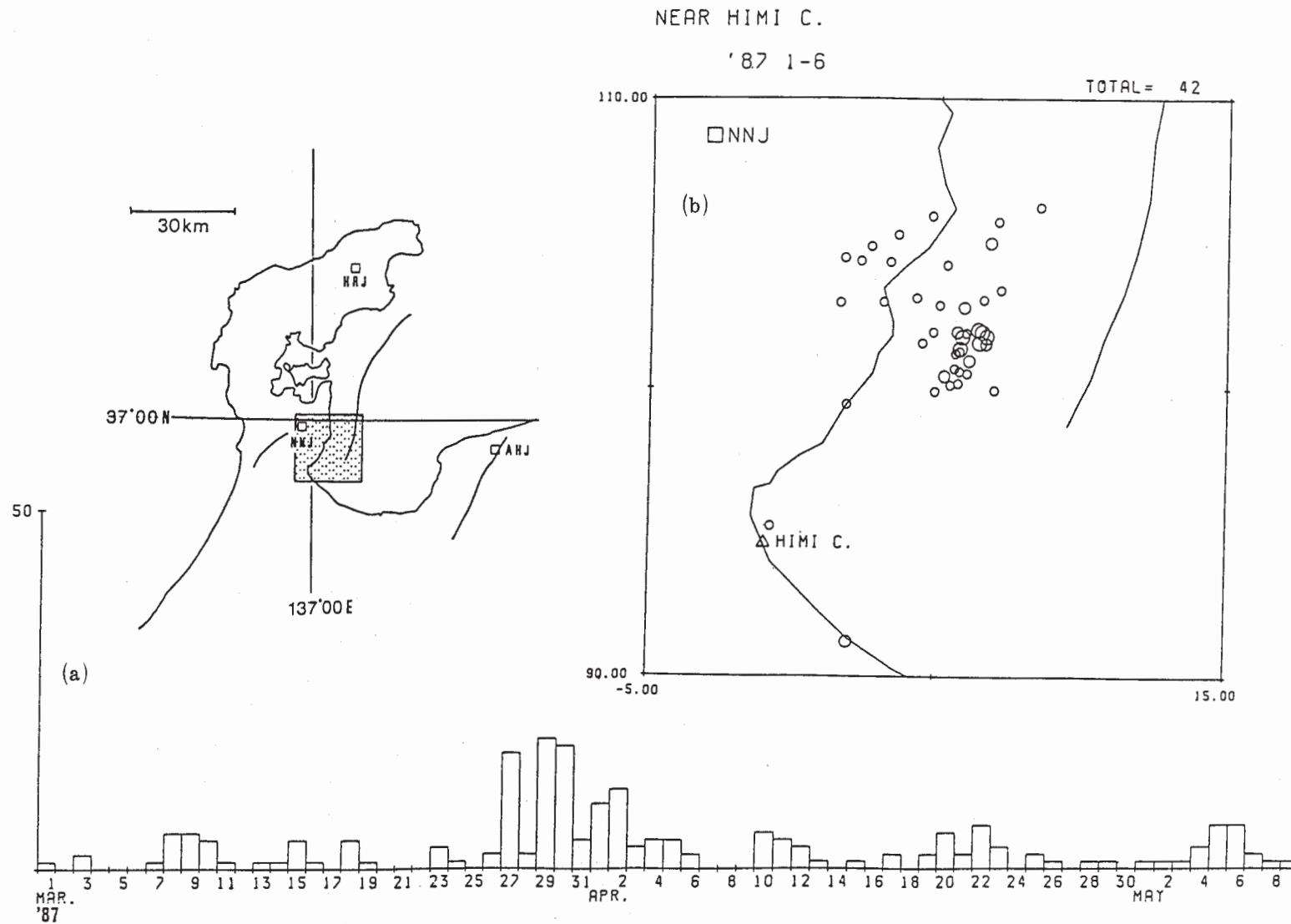
参 考 文 献

- 1) 京都大学防災研究所・上宝地殻変動観測所：中部地方北西部（飛騨地方北西部，富山湾及び能登半島周辺）の地震活動（1986年7月－12月），連絡会報，**38**（1987），410－413.
- 2) 京都大学防災研究所・上宝地殻変動観測所：中部地方北西部（飛騨地方北西部，富山湾及び能登半島周辺）の地震活動（1987年1月－6月），連絡会報，**37**（1987），305－310.



第1図 中部地方北西部（飛騨地方北部，富山湾及び能登半島周辺）の地震活動，1987年1月-6月

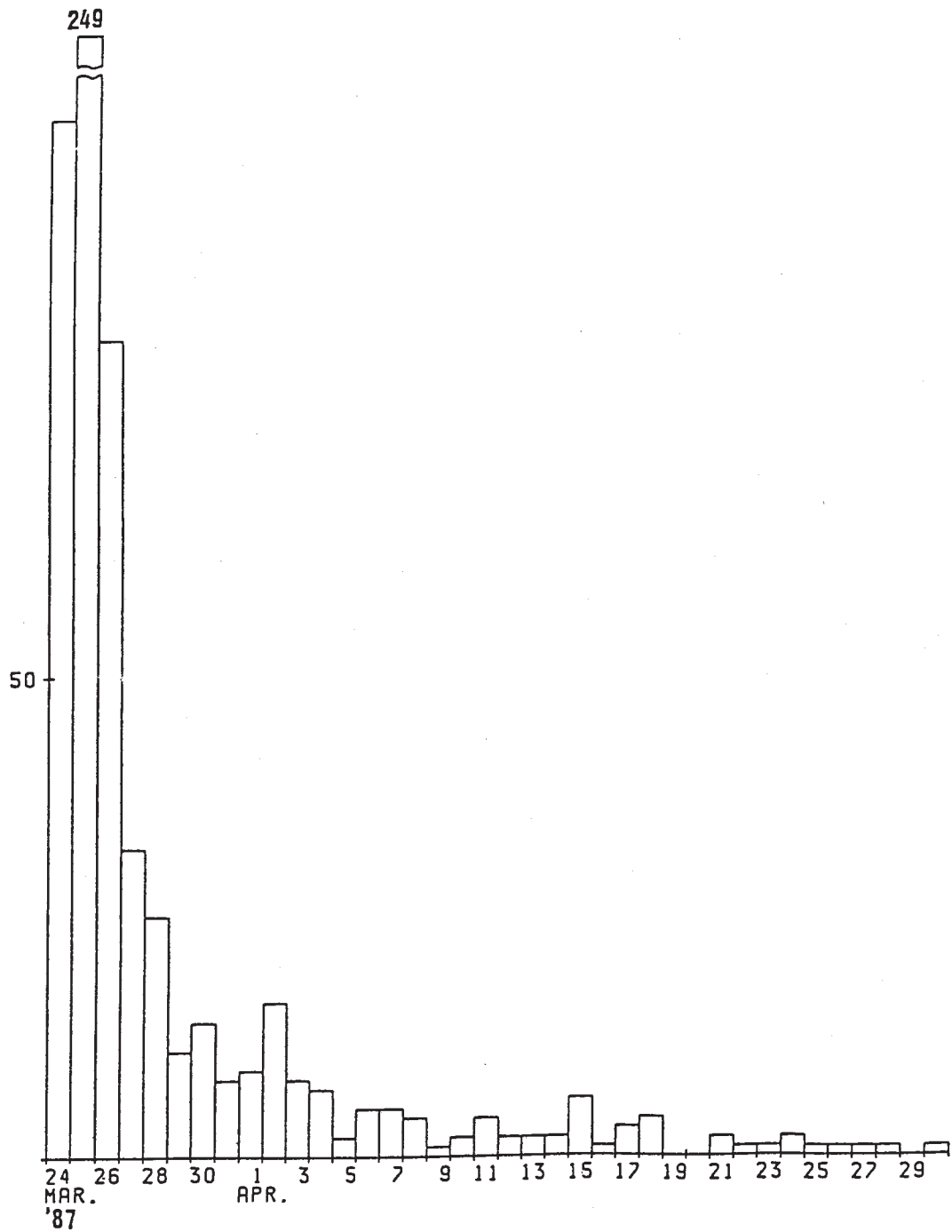
Fig. 1 Seismicity in the Northern Chubu region (including the Northern Hida, Toyama Bay and Noto Peninsula regions), during the period January 1 - June 30, 1987.



第2図 富山湾西岸永見沖の群発地震活動

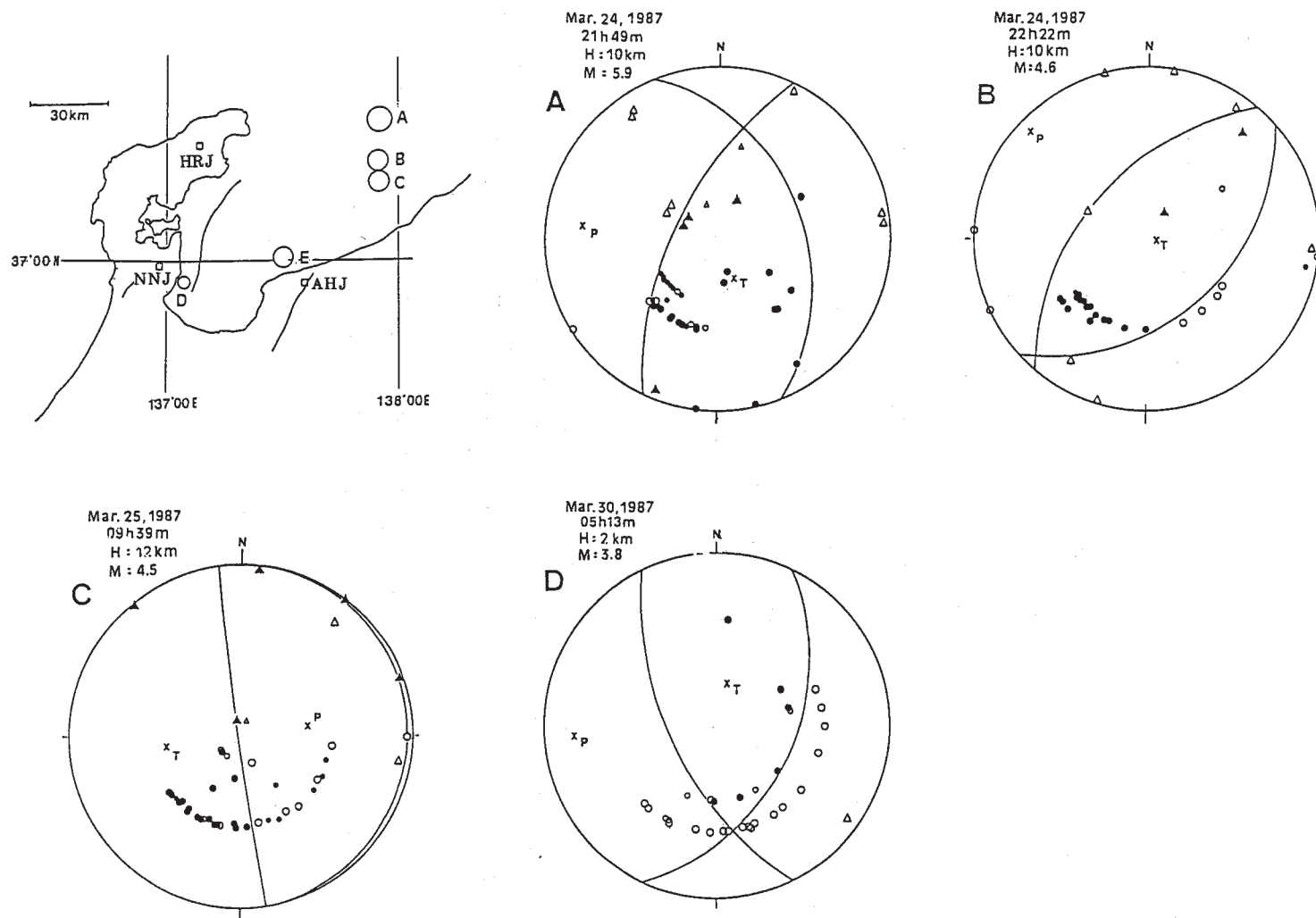
(a)日別頻度分布, (b)震央分布

Fig. 2 Swarm earthquakes near the west coast of the Toyama Bay
(a) Recorded number of the swarm earthquakes since March, 1987.
(b) Epicentral locations of the swarm earthquakes.



第3図 富山湾東方（新潟県南西部沖）地震，（1987年3月24日，M = 5.9）の余震活動の日別頻度分布

Fig. 3 Daily numbers of aftershocks of the March 24, 1987 earthquake (M = 5.9) that occurred in the eastern part of the Toyama Bay along the 138° E-line.



第4図 富山湾内地震のメカニズム

A. 1987年3月24日21:49, M = 5.9, B. 1987年3月24日22:22, M = 4.6,

C. 1987年3月25日09:39, M = 4.5, D. 1987年3月30日05:13, M = 3.8

Fig. 4 Fault-plane solutions of four recent earthquakes around the Toyama Bay region.